

# 令和元年度 基本方針と目標

「一人一人が主役、共に支え合い、地域を暮らしやすくしていこう」 - 笑顔があふれるまち“六郷”の実現を目指して -  
六郷まちづくり協議会

## 基本方針 1 まちづくり活動の活性化 … 多くの住民の多様なまちづくり活動への参加を促進して、地域の絆を深めます。

### 重点施策 1-a まちづくり協議会の活動形態を進化させる

六郷まちづくり協議会の中期ビジョン実現を目指して、六郷地区連合自治会、他のまちづくり団体やボランティアの協力を得ながら、地区の問題を解決していく活動を進められるような組織や活動の仕方を追い求めていく。

担当 活動研究会、企画幹事会

### 重点施策 1-b 令和元年度 活動計画を確実に実施する

各活動部会の計画を、連合自治会・他のまちづくり団体と協働しながら確実に推進していく。

特にイベント活動の中心となる体育部会スポーツフェスティバル、スポーツ教室などは、実施形態・内容を改善しながら、さらに活発化していく。

**尚本年度の体育祭はいったん中止し、六郷住民が多く集まって、スポーツを楽しむことができる方法を検討する。  
具体的には、他地区の体育の集いの実施方法を調査するスポーツ研究会を立ち上げることとする。**

担当 各活動部会、専門委員会、企画幹事会

### «基本方針 1 のめざす目標»

住民アンケートの結果を踏まえ、住民のニーズと地域の問題点を把握し、その結果をまちづくり活動につなげる事を推進する。まちづくり組織のあり方についての検討を進め、他のまちづくり団体と連携し、参加者の増大、裾野の拡大を図る。

## 基本方針 2 地域の福祉・教育支援への取り組みを促進…住民の交流を促進し、相互の助け合いの輪をひろげます。

### 重点施策 2-a 地区の社会福祉活動を推進して、笑顔があふれるまち“六郷”の実現を目指す

地区の福祉活動体制の中心組織として協力スタッフの増加を目指し、「楽しく・気軽に・無理なく」「出来る人が・出来る時に・出来る事を」の精神で住民のニーズに応えた活動を推進する。

- ① いきいきサロンの拠点づくり … 現在のサロン活動への必要に応じた支援を行うとともに、新設サロン 1 か所以上の拡大と支援
- ② ふれあいの居場所づくり … 多世代を対象としたふれあい朝市と青空サロンの充実と、来場者の増加
- ③ ふれあい市民農園利用拡大 … 「牛淵ふれあい市民農園」の利用拡大を図り、地域自治会等と協力しながら、市民の生きがいと

健康増進の場として活動していく。さらに遊休農地の利用について、研究、検討を進める。

担当 地域福祉部会、地域振興部会、活動研究会、サロンや朝市開設の各地域組織、協力 関係自治会、民生委員等

### 重点施策 2- b 教育支援への取り組みを推進する

住民アンケートで支持の高かった「夏休み無料学習室」「学用品リユース」事業を平成 30 年度に続いて取り組み、継続して活動していける体制を作り上げる。

担当 活動研究会、教育文化部会、協力 地域の諸団体（PTA、学校）

«基本方針 2 のめざす目標»

住民相互の多様な交流の輪を広げる。特に時間通貨の取り組みや市民農園の利用者の増加、ふれあいサロンの増設を行い、活動の活発化を図り、地域交流の場として重要視する。

## 基本方針 3 安全安心のまちづくりと、活動を支える人づくり … 元気な高齢者の社会参加を進め、支え合いの

活動を展開する中で、地域の組織と連携協力して、心豊かで安心安全の暮らしの出来る地域づくりをめざします。

### 重点施策 3- a 地域づくりの担い手の広がりを目指す

静岡県コミュニテイカレッジへ参加者を派遣する（2名）。さらに「ろくごうボランティアネットワーク」の活動を活発にする具体策を実施する。企画委員への新規加入を募り、役員候補を育成する。

担当 企画総務部会、地域福祉部会、まち協事務局

### 重点施策 3- b 安全安心のまちづくりを推進する

救急医療情報キットの配布は、未配布の単位自治会への説明をさらに拡大し、対象年代を60歳以上に広げる。目標200個あらたに安全防災部会を立ち上げ、地区住民の絆を強めて、防災連絡会と連携して、災害に強いまちづくりを目指す。

担当 安全防災部会、地域福祉部会、協力 六郷地区連合自治会、六郷地区防災連絡会

### 重点施策 3- c ろくごうの集いを開催する

ボランティアの集いとして、現在各地区・各方面で活動しているボランティアのみなさんとの意見交換の場とする。

担当 ろくごうの集い実行委員会、地域福祉部会

《基本方針3のめざす目標》

救急医療情報キット配布のような、新しい支え合いと安全安心の地域づくり活動に取り組む中において、その過程に様々な形でのボランティアの参加を呼びかけ、促進する事を通じて、地域を支える人材開発を目指していく。